

令和7年7月20日執行
参議院沖縄県選挙区
選出議員選挙

選挙公報

沖縄県選挙管理委員会



NHK党
眞喜志 雄一
まさし ゆういち

トランプ 大統領の

移民政策に賛成する党です。 外国人への生活保護を廃止！ 不法移民は直ちに国外追放！

日本国民を守るため、NHK党は不法移民に対して断固とした対応をしていきます。移民大国といわれるアメリカでも不法移民を制御できず、あらゆる場所で暴動や略奪が起こり、海兵隊の兵士が派遣されるほど治安が悪化しています。独断的で強権的のイメージもあるトランプ大統領ですが、不法移民の国外追放・強制送還は、自国民を守るための当然の決断なのです。

日本は出生率が過去最低になる一方、総人口に占める外国人割合が増加しており、このままではアメリカのように制御できなくなる将来もそう遠くありません。未来ある子どもたちのためにも、これ以上日本に外国勢力を増やしてはいけません。暴動や略奪など無い、平和な日本を守るために命がけて政治改革を進めていきます。

生活保護受給者のNHK受信料は無料なのに、年金受給者にはNHK受信料が請求されます。これっておかしくないですか？

全ての国民はNHK受信料を支払わなくて大丈夫です。

NHK受信料の支払いは任意であり、国民の義務ではありません。 NHK党は年金受給者のNHK受信料を無料にします！

NHK党はNHK受信料を不払いするあなたを全力でお守りし、不法移民から国民を守ります。そのためには、あなたの投票がとっても大切になります。1枚目の投票用紙には、選挙区のNHK党公認候補者名を、2枚目の投票用紙には「NHK党」と書きください。あなたが投票する選挙区と比例区は、2票が必要です。

NHK受信料を不払いする国民を増やして、NHKをぶっ壊す！



NHK党コールセンター お気軽に電話ください！

03-3696-0750

日本人ファースト 参政党



和 ^わ _だ
和田ともひさ
参政党公認

“3つの柱と9の政策”

これ以上、**日本**を壊すな！

詳しい参政党の政策はこちら！



1 日本人を豊かにする の柱 ~経済・産業・移民~

1 “集めて配る”より、まず**減税**
国民負担率を上限35%に抑え、減税と社会保険料削減で給料の2/3は手取りで残す。

2 “**勝つ産業**”で**日本再興**
人工知能・製造業(自動車など)・サブカルチャーを重点政策「三本の矢」として支援する。

3 行き過ぎた**外国人受け入れに反対**
日本は日本人で支える国に。移民の課題は「外国人総合政策庁」で一括して取り組む。

2 日本人を守り抜く の柱 ~食と健康・一次産業~

4 **米の確保**と食の安全
食料自給率100%、食品表示法の改善、オーガニック給食を推進する。

5 GoToトラベルで**医療費削減**
健康で医療費削減に協力した高齢者には国内旅行券を配布し外国人に依存しない観光業に再構築する。

6 **金儲け医療・WHOパンデミック条約に反対**
医薬品業界や各国の利権が絡むWHO主導の新型感染症対策を見直す。

3 日本人を育む の柱 ~教育・人づくり~

7 偏差値重視の**管理教育を廃止**
偏差値重視の管理教育から“愛と勇気を育む”人格形成教育に変える。

8 子供一人につき**月10万円**
安心して子育てできる経済支援。0~15歳に月10万円の教育給付金を支給する。

9 憲法づくりで**政治に哲学を**
参政党の憲法草案はこちら▶
護憲でも改憲でもなく、ゼロから憲法を創ることで国民の意識改革を促す。



比例も参政党へ

和田ともひさ
プロフィール

米国スタンフォード大学大学院電気工学修士 / 琉球大学名誉教授 / 企業技術顧問、元琉大工学部教授。阪大卒、三菱電機で16年間半導体メモリ設計従事、スタンフォード大学コンピュータアーキテクチャ修士。99年琉大転職し、副学長、評議員・学部長を歴任。専門は無線通信システム設計で4G・5G・水中通信システム。

第27回 参議院議員通常選挙

令和7年 **7/20** 日

沖縄県選挙管理委員会

当日投票時間 **午前7時～午後8時**

※ただし、竹富町の投票日は7月19日(土)です。
※一部の投票所では投票時間に変更がありますので、ご注意ください。

期日前投票制度

投票日に、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭などの予定があり投票に行けない方は、期日前投票所で前もって投票することができます。

期日 公示日の翌日(7月4日)から投票日の前日(7月19日)まで
【土曜・日曜も投票できます。】

時間 午前8時30分から午後8時まで
※期日前投票所によって投票時間が異なりますのでご注意ください。

場所 各市町村の期日前投票所

入場券がなくても、本人確認ができれば投票できます。マイナンバーカード、運転免許証等を持参いただければ、比較的スムーズに本人確認が行えます。



親子連れ投票推進中!

子どもを同伴して投票所に入れます

※一緒に投票所に入場できるのは18歳未満の子どもです。



子どもの頃に親に投票について聞いたことのある人・ない人の投票参加の比較



左のグラフのとおり、親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。



※H28 参議院選後の総務省「18歳選挙権に関する意識調査」(18~20歳までの男女3,000人に行ったインターネット調査より)